

市政をリードする身近な相談相手
日本共産党鹿児島市会議員

平山たかし



市政報告

日本共産党 鹿児島市議団ニュース

発行/日本共産党鹿児島市議団 2010年2月号 NO.98
鹿児島市山下町11-1 TEL: 216-1440 FAX: 225-5607
E-mail: kyousan@kagoshimashigikai.com

<http://www5.synapse.ne.jp/jcp-shigidan/> 共産党鹿児島市 検索

▲12月議会本会議にて、人工島問題で当局を追求する平山たかし議員（市議会のホームページからインターネットでも配信されています。）

所得が大幅減のとき 国保税引き下げを実現！ すでに前年比50倍の減免（12月末）

	所得激減減免件数	税の減免額
平成20年度(H21年3月まで)	9件	約56万円
平成21年12月まで	244件	約3,099万円
倍率	27倍	55倍

■減免申請書も「簡潔に、申請しやすく」なりました。

○減免制度はあるが、活用されない制度の実態を分析
○長引く不況による「解雇」「営業不振」などで昨年より「所得が激減」に対応する制度に改善させました。

平山たかしの
議会質問の要旨
(3・9月議会)

大型補正予算 **すべて** 24億円を市内業者へ発注！ 市立幼稚園、小・中・高校への地デジ対応テレビなど

2月までに納入され学校現場で活用される機器

パソコンと周辺機器 14,567台

地デジ対応テレビ 1,826台

電子黒板 117台

■市当局は、要請にこたえて「市の物品購入の全業者に、入札参加意思の事前調査をやり、希望のあった120社の全社を入札指名に入れ」「グループ分け、落札件数の制限（パソコン関係は4件落札まで…など）によって、多くの業者が受注できるように」と、かつてない対応をとらせ、市内経済活性化へ貢献しました。

○「県外大手電機メーカーへの一括発注でなく、市内の業者への発注とすべき。」
○「分割発注で、多くの市内業者の受注機会を増やす方法の検討を。」と要請しました。

平山たかしの議会質問の要旨
(9・12月議会)

この一年だけでも14回本会議に登壇

日本共産党
鹿児島市議
平山たかし
VTRで守る提案と実現

建設的野党の役割発揮

鹿児島市議会の新記録！

